

環境保全報告書(令和6年度)

2025年6月 新明和工業株式会社 航空機事業部 甲南工場

環境保全事務局

1. 重点課題の取組みに係る報告



-m + - //			2024年度	2024年度		III +	
	環境目	的	年度計画 ※F/U後計画	年度実績	評価	備考	
1	気候変動への対応	<u>,</u>	-	-		-	
	*CO2排出量 CO2排出量 [t-CO2]		年間:9,647以下	8,798		目標値に対して達成。 (省エネ法のエネルギー原単 位も、前年度比▲1%以上を 達成。)	
2			-	-		_	
	・排出量の低減 廃プラ排出量 [t]		年間:194以下	206	×	目標未達。前年度より悪化。 →25年度は廃プラ排出量原 単位の前年度比▲1%を達成 できる値を設定する。	
3	その他(継続的な取組み)				①:問題無し ②:甲南工場 下水排水に係る 法規制超過は無し 緊急事態訓練も予定通り実施		
		品	③:教育の充実 ④:(ウィング)EMS編入に係る取組み	③:水質(漏洩防止)(こ係るe-ラーニングを実施。2件準備。 ④:(ウィング)現状の把握中		・(ウィング)編入に係る 現状把握・調整中	

評価 ◎:目標達成、○:前期より改善(目標未達でも)、△:変化なし、×:悪化

※ <u>航空機事業部全体</u>(神戸市:甲南工場、神戸市以外:徳島工場・宝塚工場・播磨工場)の計画・実績。 CO2排出量は電力消費量に<u>社内基準の係数</u>を掛けて算出。(温対法報告基準ではない。)

2. 公害防止対策に係る報告

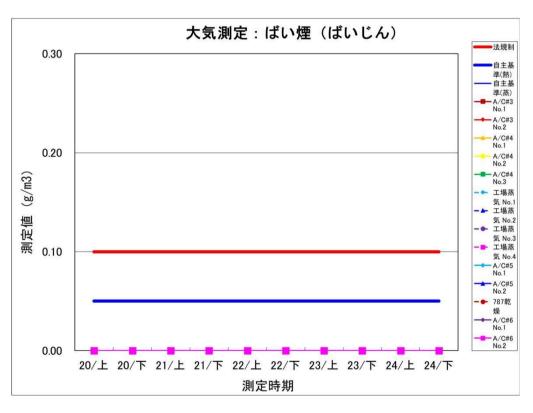


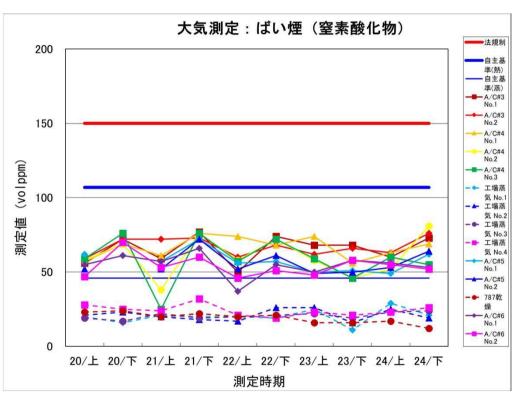
公害上の 分類	管理項目	管理方法	目標達成のために 講じた措置・対策	測定結果	評価	
	・ボイラー燃焼で発生する 窒素酸化物 ばいじん		ボイラーメーカによる 定期点検を継続実施。	定期測定結果(は 結果①参照		
大気汚染	・洗浄施設で発生するVOC・塗装設備等で発生する廃ガス	を装設備等で発生する 測定を通じて順守状況を確認し、		測定対象無し	0	
		行う。	・設備作業前点検を順守、 排気フィルタ類は定期的 に清掃・交換を実施。			
	•生產系排水	社内「水質管理基準」に従い、	•24時間連続監視による 兆候管理を継続。		0	
水質汚濁	・生活系排水	測定を通じて順守状況を確認し、 問題があれば速やかに改善を 行う。	・定期採水分析による 監視を継続。	定期測定結果は 結果②参照		
	•雨水排水	117.	・雨水側溝の清掃点検を 実施。			
騒音·振動 •悪臭	・敷地境界線における 設備騒音	社内「騒音・振動・悪臭管理 基準」に従い、測定を通じて 順守状況を確認し、問題が	・騒音定期測定(2回/年) を実施。	定期測定結果(は 結果③参照	0	
态天	・飛行艇エンジン運転時に おける管理基準の順守	あれば速やかに改善を行う。	・飛行艇エンジン運転時の 日時順守を徹底する。	測定対象無し		
産業廃棄物	• 産業廃棄物 • 特別管理産業廃棄物	社内「廃棄物管理基準」に従い、 測定を通じて順守状況を確認し、	・廃棄物置場の定期巡視に よる飛散、漏洩の防止	定期巡視の継続実施に より問題なし	0	
/生术/先未1//	•事業系一般廃棄物	問題があれば速やかに改善を 行う。	・廃棄物処理業者の視察に よる適正処理確認	マニフェストの終了確認及び 業者聞取りにより確認		
土壌汚染	· 有害物質使用特定施設	社内「土壌管理基準」に従い、 有害物質使用特定施設の定期 的な点検を実施し、問題があれ ば速やかに改善を行う。	・有害物質使用特定施設 について定期的な点検 を実施。	特定施設の定期点検 結果、問題無し	0	

2. 公害防止対策に係る報告



2-1. 定期測定(結果①:大気汚染)





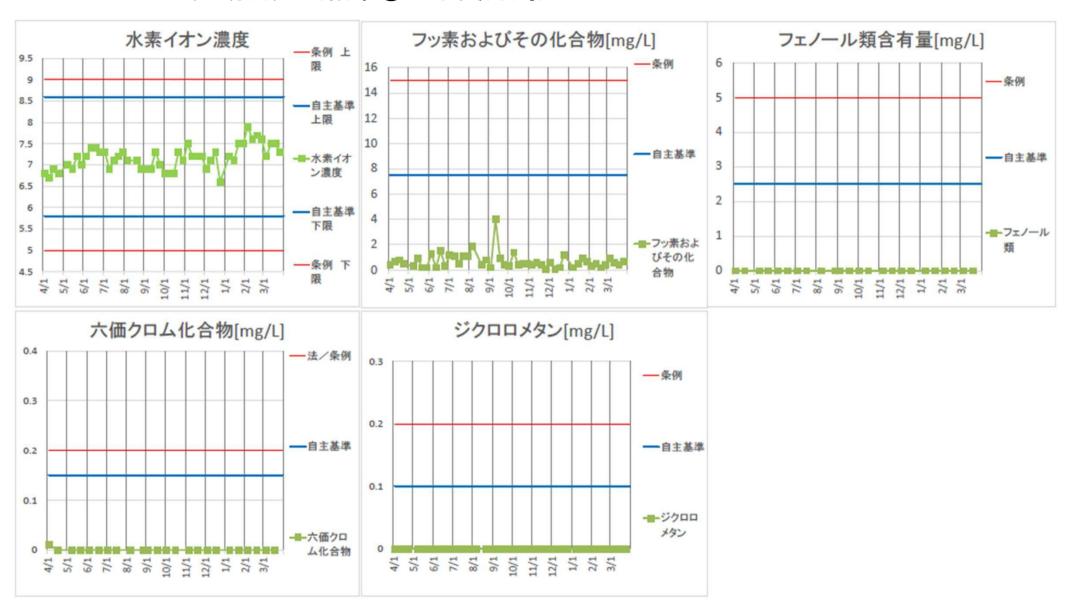
ばいじん

窒素酸化物





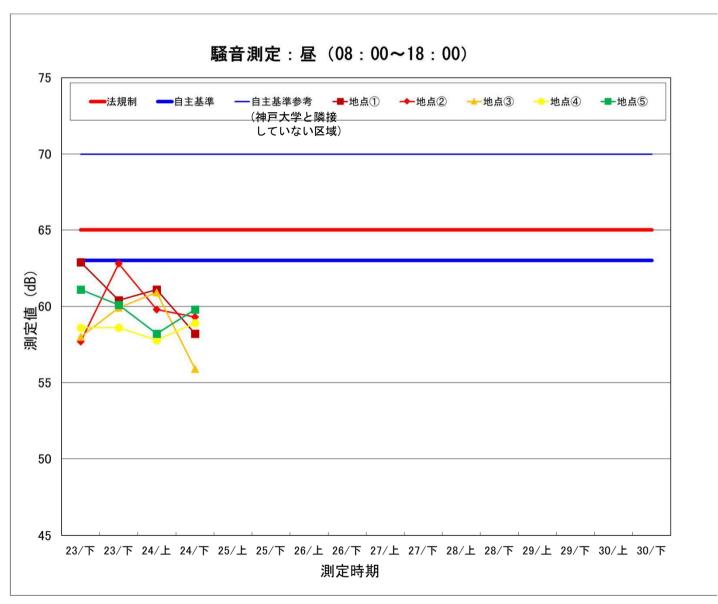
2-2. 定期測定(結果②:水質汚濁)







2-3. 定期測定(結果③:騒音)



※早朝、夜間の操業停止などを考慮し、昼間のみ結果を示す。





3-1. 電気・燃料等の使用量、温室効果ガス(CO2 のみ) 排出量

(甲南工場のみ:兵庫県条例に基づく実績/計画の報告より)

活動の 区分	燃料・焼却物 等の種類	使用量等	単位	単位 発熱量 (MJ)	排出 係数 kg-CO ₂ /MJ	排出量 kg-CO ₂	温暖化 係数 CO ₂	合計 [t-C02] (CO ₂ 換算)
燃料の	原料炭			28.9	0.0898			
使用	一般炭		kg	26.1	0.0891			
	A重油		Q	38.9	0.0708			
	B重油		Q	41.8	0.0741			
	C重油		Q	41.8	0.0741			
	LPG	221	kg	50.1	0.0598	662	1	0.7
	都市ガス	1,210,198	Nm³	40	0.0513	2,484,940	1	2,484.9
	ガソリン	2,000	Q	33.4	0.0686	4,580	1	4.6
	灯油	5,004	Q	36.5	0.0686	12,523	1	12.5
	軽油	773	Q	38.0	0.0689	2,024	1	2.0
	その他 (廃棄物等)		kg					
電気事業者から供給された電気の使用		15,220,207	kWh		0.419 (kg-CO2/kWh)*	6,377,267	1	6,377.3
		6,522,948	kWh		0.000 (kg-CO2/kWh)%	0	1	0.0
熱供給事業者から供給された 熱の利用			MJ					
ドライアイス の 使用		1,240	kg			1,240	1	1.2
合計								8,883.2

[※]電気に係るCO2排出係数:温対法報告での基準(排出した年度の「前年度」実績からの調整後排出係数) 電力使用量の30%をCO2フリーとして扱う需給契約を適用中。





3-2. 当該年度の計画達成状況 (単位:t)

(甲南工場のみ:兵庫県条例に基づく実績/計画の報告より)

	基準年度	現況	2030年度目標		
温室効果ガス	排出量(a) 2017年度	排出量(b) 2024年度	抑制目標量(c)	達成率(%)	
二酸化炭素※	18,831.9	8,883.2	11,675.7	139.0	
(参考:電力の CO2排出係数)	(0.453)	(0.419)	(0.250)		
メタン	0.6	1.0	0.4	▲ 181.3	
一酸化二窒素	0.1	0.0	0.1	204.7	
HFC	2.5	1.3	1.5	130.0	
PFC	0.0	0.0	0.0	-	
六フッ化硫黄	0.0	0.6	0.5	I	
三フッ化硫黄	0.0	0.0	0.0	-	
合計	18,835.1	8,886.1	11,678.3	139.0	

[※]電気に係るCO2排出係数: 温対法報告での基準(排出した年度の「前年度」実績からの調整後排出係数) 達成率(%) = {(a)-(b)} / {(a)-(c)} ×100





3-3. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

抑制措置 大分類	具体的対策	削減目標/削減量	実施状況
省エネルギー 等 低炭素型事業 活動の徹底	a)電力使用量の予実管理データをより詳細に提供 b)CO2フリーエネルギーの適用拡大 c)空調機器など点検、室外機の熱交換器洗浄 d)コンブレッサの適切な点検・運用 e)24h空調設備の台数間引き/操業に 応じて一時休止 f)生産活動の効率化(残業・休出の縮減) g)照明・OA機器の消し忘れ防止(昼休み・夜間) h)空調の適正な使用(夏期28度、冬期20度) 等の定着した節電活動	電力: ▲520千kWh/年 達成 電力: 7,500千kWh/年 をCO2フリー化	a)継続して運用・管理実施中。 b)電力の30%をCO2フリーとする 契約を更新・継続中 6,523 干kWh/年 をCO2フリー化 c)~e) 省エネ促進に係るコンサル 受審により活動徹底 f)~h) 継続して運用・管理実施中 ※その他蒸気漏れ・エア漏れの修理 断熱未施工部の断熱施工
製造設備又は 事務所ビルの 低炭素化	a)LED照明導入などの照明機器更新 b)R22フロン使用機器の更新 等の効率化機器適用 c)電動力利用設備に省エネVベルトの 積極的な適用(交換)		a)LED照明更新実施中 (400型水銀灯→LED灯具へ) b)空調機器更新を逐次実施中 c)省エネVベルトへの交換多数



4. その他環境保全活動に係る報告

「新り」								
3 環境にやさしい製品 信息で学習的 低類独自の対料の理解 低類独自の対料の理解 通用法令(海外・国内)より流・理解の推進 近初質含有有無に係る 日本の大野 日本の大		ESG重要課題	項目	細目	24年度目標	 24年度結果 	評価	
	3	環境にやさしい製品		低環境負荷材料の理解		止物質含有有無に係る		
14 コミューティとの調和 18 基本と正道の徹底 18 基本と正道の徹底 18 基本と正道の徹底 18 基本と正道の徹底 18 18 基本と正道の徹底 18 18 基本と正道の徹底 18 18 18 18 基本と正道の徹底 18 18 18 18 18 18 18 1	4	気候変動への対応	・フロン適正処理		全数(100%)	100%自主点検実施	0	
PCB管理 棚卸し実施、保管状況の確認 保管無人確認は年1回(9月) 同左	5	水質・土壌の安全管理		予防保全実施による突発事故の撲滅	事故0	外部への流出事故0		
7 廃棄物削減と リサイクル リサイクル ・埋立量の削減 使用量を削減 有効期限付材料の購入量適正化 有効期限付材料の購入量適正化 有効期限付材料の購入管理機能 所プラの分別徹底 ガラステック類、缶、ペッ・ボトル類の分 別回収推進による排出量削減・勉強会 回収時の立会チェックと分別指導 公書防止管理者(水質関係)資格の拡充 表面処理、危険物貯蔵所、給油所での 滴洩を想定した緊急時訓練を実施 ・飛行艇エンジン連転計線を実施 ・飛行機エンジン連転計線を実施 ・工場設備の稼働状況 監視 ・・地域社会への貢献 ・・ボラディア活動への 積極的参加 6,000kg/年 (199kg/年 6,199kg/年 × 14 コミュニティとの調和 ・工場監備の稼働状況 監視 ・・ボランディア活動への 積極的参加 公書防止管理 ・・北場設備の稼働状況 ・ボランディア活動への 積極的参加 近隣自治会等ペエンジン連転情報の連絡 エンジン運転よびを対した緊急時訓練を実施 ・・ボランディア活動への 積極的参加 否制練項目で年1回以上 番割練項目を網理する ・形で、全4回実施 ・お設備の稼働・アジン連転情報の連絡 エンジン連転よび・ディア活動への 積極的参加 石間向 ・記録値の確問早解検動制限を実施 ・・ボランディア活動への 積極的参加 五週面 ・記録値の確問単解検動制限を実施 ・記録値の ・活送のはの1月月に実施 ・部設備の夜間早解検動制限を実施 ・部設備の夜間早解検動制限を実施 ・部設備の夜間早解検動制限を実施 ・部設備の夜間早解検動制限を実施 ・部設備の夜間早解検動制限を実施 ・部設備の夜間早解検動制限を実施 ・部設備の夜間早解検動制限を実施 ・指活動を実施 本目回(11月) 11月に実施 ・25/6月に実施。 ・25/6月に実施。 ・7月に実施 ○ 2 基本と正道の徹底 定期サーベランス 年1回以上 審査機関・日本環境認証機構 年1回以上 25/6月に実施。 7月に実施 ○			・PCB管理	棚卸し実施、保管状況の確認	保管無し、確認は年1回(9月)	同左		
1		・発生量の抑制 使用量を削減 有効期限付材料の・排出量の抑制 有効期限付材料の		使用量を削減 有効期限付材料の購入量適正化 有効期限付材料の廃棄管理徹底	729t/年(事業部全体)		0	
12 ・排出量の抑制 (「可燃ごみ」) (私、アラステック類、缶、ベッド・ドル類の分別回収推進による排出量削減・勉強会回収時の立会チェックと分別指導	7		・埋立量の削減		3.2t/年(事業部全体)			
12 人材育成 ・必要資格保有者の育成・確保・緊急時の訓練 公害防止管理者(水質関係)資格の拡充表面処理、危険物貯蔵所、給油所での漏洩を想定した緊急時訓練を実施 各分野におけるe-ラーニング実施体制の確立 を-ラーニング実施 各訓練項目を年1回以上 水質関係のe-ラーニング実施 各訓練項目を年1回以上 各訓練項目を第2 会訓練項目を年1回以上 名訓練項目を第2 会訓練項目を年1回以上 名訓練項目を第2 会訓練項目を第2 会訓練項目を年1回以上 会訓練項目を第2 表面のの表記の 表記の とでは、おおおおいまでは、表面のの表記の表記の表記の表記の表記の表記の表記の表記の表記の表記の表記の表記の表記			・排出量の抑制		6,000kg/年	6,199kg/年	×	
12 人材育成 一京水・確保 公害的正管理者(水質関係)質格の拡充 各分野におけるe-ラーニング実施 を分野におけるe-ラーニング実施 表面処理、危険物貯蔵所、給油所での 深息時の訓練 表面処理、危険物貯蔵所、給油所での 深浪を想定した緊急時訓練を実施 本で、全4回実施 下で、全4回実施 下は設備の稼働状況 下は設備の稼働状況 下は設備の稼働状況 下は対社会への貢献で 下が支ィア活動への 下がランティア活動への 下がランティア活動への 下が表面を実施 下は対して、下が表面を実施 下は対して、下が表面を実施 下は対して、下が表面を実施 下は対して、下が表面を実施 下は対して、下が表面を実施 下は回り上 日に実施 下は回り上 日に実施 下は回り上 日に実施 下は回り上 日に実施 下は回り上 日に実施 下は回り上 下は、下は、下は、下は、下は、下は、下は、下は、下は、下は、下は、下は、下は、下	1 1			回収時の立会チェックと分別指導	随時	随時実施	1 1	
・緊急時の訓練 表面処理、危険物貯蔵所、給油所での 漏洩を想定した緊急時訓練を実施 各訓練項目で年1回以上 各訓練項目を網羅する 形で、全4回実施 苦情の 苦情の 苦情の 苦情の というシン連転情報の連絡 まは験の適正管理 ・工場設備の稼働状況 監視 一部設備の夜間早朝稼動制限を実施 自主基準値順守 超過0 をおけるシティア活動への 清掃活動を実施 11月に実施 では域社会への貢献では下がランティア活動への 清掃活動を実施 年1回以上 組織変更の影響もあり、25/6月に実施。 定期サーベランス 審査機関:日本環境認証機構 7月 7月に実施 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	10	人技态的		公害防止管理者(水質関係)資格の拡充	各分野におけるe-ラーニング実施体制の確立			
14 コミュニティとの調和 ・飛行艇エンジン運転スケジュールの厳守 苦情0 苦情0 古情0 ・工場設備の稼働状況 監視 一部設備の夜間早朝稼動制限を実施 一部設備の夜間早朝稼動制限を実施 でおうンティア活動への 積極的参加 ・ボランティア活動への 清掃活動を実施 年1回(11月) 11月に実施 日1回(11月) 0 18 基本と正道の徹底 本1回以上 組織変更の影響もあり、 25/6月に実施。 ア月 7月に実施 7月に実施 7月に実施	12	八付月以	・緊急時の訓練		各訓練項目で年1回以上			
14 コミュニティとの調和 監視 一部設備の夜間早朝稼動制限を実施 自主基準値順守 超過0 ~地域社会への貢献~ ・ボランティア活動への 積極的参加 近隣地域や駅までの通勤経路等の 清掃活動を実施 年1回(11月) 11月に実施 〇 8 本と正道の徹底 本1回以上実施 内部監査 定期サーベランス 年1回以上実施 審査機関:日本環境認証機構 年1回以上 25/6月に実施。 7月 7月に実施			飛行艇エンジン運転		苦情0	苦情0	0	
監視 一部設備の夜間早朝稼動制限を実施 自主基準値順守 超過0 ~地域社会への貢献~ ・ボランティア活動への 積極的参加 近隣地域や駅までの通勤経路等の 清掃活動を実施 年1回(11月) 11月に実施 〇 8 本と正道の徹底 本と正道の徹底 年1回以上実施 内部監査 定期サーベランス 年1回以上実施 審査機関:日本環境認証機構 年1回以上 25/6月に実施。 7月 7月に実施	1,, 1	コミュニティとの 調和		敷地境界での騒音測定実施	法規制値順守	超過0]	
・ボランティア活動への 積極的参加 近隣地域や駅までの通勤経路等の 清掃活動を実施 年1回(11月) 11月に実施 〇 18 本と正道の徹底 年1回以上実施 内部監査 定期サーベランス 年1回以上実施 審査機関:日本環境認証機構 年1回以上 25/6月に実施。 7月 7月に実施	14		監視	一部設備の夜間早朝稼動制限を実施	自主基準値順守	超過0		
18 基本と正道の徹底 内部監査 定期サーベランス 年1回以上美施 年1回以上 25/6月に実施。 7月 7月に実施			ボランティア活動への		年1回(11月)		0	
「「「「「「」」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」	10	其末と正道の御底	内部監査		年1回以上 25/6月に実施。			
見直会議 活動を振返り、将来への改善提案 年2 回以上 24/11 月、25/4月に実施	10 全平C正道の徹底		/ _ / · · ·					
			見直会議	活動を振返り、将来への改善提案	年2回以上	24/11月、25/4月に実施		